

家庭学習の手引き 低学年

須賀川市立大東小学校

家庭学習における家庭の役割

～学習環境を整える～

テレビや音楽は止め、集中して学習ができるようにしましょう。これがいちばん大切です。

【導く 低学年】

お子さんの学習の様子を見守り、励ましながら進める。

【寄り添う 中学年】

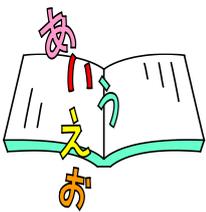
少し離れて様子を見ながら、できたらほめる。

「困ったときは自分から聞く」などの約束をする。

【見守る 高学年】

学習カードや記録カードなどのチェック程度にし、

自分で学習できることを大いにほめる。



それぞれのご家庭の状況に応じて、学習の仕方を工夫していただければと思います。

また、学年が上がると学習することも難しくなります。お子さんのがんばり認め、励ましていただければと思います。



低学年の学習について

〈時間の目安〉

『15分×学年』が目安となりますので、低学年は30分程度です。

〈学習の特徴〉

何よりも『宿題を毎日欠かさず行う』という習慣を身に付けることが大切です。低学年のうちに机に向かう習慣を身に付けることは、中・高学年において、『自分で学習を進める姿』へとつながっていきます。

低学年 自主学習例

教科名	学 習 内 容	
国語	音 読	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発音に注意しながら、はっきりと声に出して読む。 ○ 「、」や「。」に気をつけて読む。 ○ 様子や気持ちが伝わるように、工夫して読む。
	漢字練習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書き順を確かめながら書く。 ○ とめ、はね、はらいに気をつけて、丁寧に書く。 ○ 送りがなをつけたり、塾語にしたりして、意味を考えながら書く。 ○ 学習した漢字を使って、短文を作る。
	作文（日記）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 順序に気をつけて書く。 ○ 「て、に、を、は」を正しく使って文を書く。 ○ 句読点の位置に気をつけたり、会話文を入れたりして詳しく書く。 ○ 出来事のみを書くのではなく、自分の感じたことや気持ちを書く。 ○ 学習した漢字を使って書く。
	視 写	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原稿用紙の使い方に気をつけながら、教科書の文を写す。 ○ 好きな詩を写して、ひとこと感想を書く。
	言 葉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉を集める。 ○ 有名な詩を暗唱する。
算数	計算練習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算したら答え合わせを行い、間違いはやり直す。 ○ 計算カードを使って繰り返し練習する。
	問題づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数に関する文章問題を作り、式と答えを書く。
生活	観 察	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の観察をして、色や形などの特徴を記録する。 ○ 飼っている生き物の観察をして、気づいたことを記録する。
	工 作	<ul style="list-style-type: none"> ○ おもちゃづくり等をする。
音楽	表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鍵盤ハーモニカを練習する。
体育	運 動	<ul style="list-style-type: none"> ○ なわとびの練習をする。



宿題が終わり、まだ時間があるときには、上の例を参考に、自主学習に取り組むことも中学年に向けて重要です。